



「学び合い」の姿



学校教育目標の中の「学び合い」について

教室をまわっていると、多くの教室で、子どもたちの学び合いの姿が見られます。国語の時間、教科書の文章を必死に読んで、課題を解決しようと話し合ってる姿。理科では、大型テレビに映し出された植物の様子について、考えを出し合っている姿。算数では、練習問題をした後、友だちと答え合わせをし、間違ったところはどのようにして間違ったのかを確認し合う姿。などが見られました。

以前は、先生から「教えてもらう」という学び姿が多かったのかもしれませんが、これからの予測困難な時代には、自ら課題を見つけて、周りの人と協働して（学び合って）解決していく力をつけるなければいけません。いわゆる「教えてもらう」から「**自から学びとる**」という主体的な学びの力をつけていくことが大切になります。田原小では、校内研究のテーマを「子どもも教師もやってみたいと感じる対話活動の充実を目指した授業づくり」として、「めあて・対話・ふりかえり」の視点で、子どもたちの主体的な姿のある授業を目指して取り組んでいます。

親子奉仕作業 ～ご協力、ありがとうございました～



5月26日（土）

早朝より、多くの保護者の方・子どもたちに除草作業にご協力いただき、誠にありがとうございました。

すっきりと美しい環境で子どもたちが学習できますことに感謝申し上げます。

作業が終わって、見違えるようにすっきりとなった校庭です。

スイカの販売にチャレンジ!! 3年生

田原小学校ホームページでは、学校だよりや田原っ子の様子などカラーで見ることができます。



田原小学校ホームページ
QRコード



25日（土）「You + You くまもと」にて3年生がスイカの販売にチャレンジしました。暑い中、大きな声を出して頑張っていました。